

飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会

第2回文化部会 次第

日時：令和5年7月31日（月）

19：00～20：45

会場：市役所C311～313

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

①6/19協議会の振り返り

②これまでの進捗状況について

・学校、保護者、地域指導者の意識醸成について

中学校部活動運営委員会（5/2鼎中、5/11緑ヶ丘中、5/18高陵中、8/1旭ヶ丘中）

PTA講演会等への説明（4/8飯伊PTA連合会、6/11下久堅小学校）

・先進地視察

7/11 千曲市への視察報告

4 協議

（1）事例紹介

①事例発表

竜峡中学校美術部の活動紹介 「地域との連携」

美術部顧問：百瀬先生、南信美術会：手塚先生

○意見交換（グループ）

（2）今後の方向性について（提案）

①めざす姿

・令和8年度末までに休日部活動の地域移行

・平日を含めた地域移行

②推進計画策定に向けて

・現在の部活動を引き継ぎながら順次移行していく部活の検討方法

③地域の社会教育活動への生徒の主体的な参加に向けた取組

○意見・質疑

5 アドバイザーからのお話

6 その他、連絡

・次回の部会について

期日 月 日 ()

内容

7 閉 会

令和5年度 飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員

氏 名	所属団体等	備 考	グループ	担当	出欠
飯野 雄一郎	飯田市教頭会（鼎中学校）	文化部会	1	○	
今村 光利	伊那谷研究団体協議会	本部会・文化部会	2	◎	
大澤 幸弘	飯伊吹奏楽連盟事務局	本部会・文化部会	3		
亀井 裕太郎	飯田市公民館主事会（松尾公民館）	文化部会	1		欠
木田 敬貴	NPO法人いいだ人形劇センター事務局	文化部会	2		
桑原 利彦	I I D A W A V E	文化部会	3	○	
塩澤 哲夫	飯田文化協会	本部会・文化部会	1	◎	
下島 昌子	下伊那合唱事務局	文化部会	2	○	
手塚 俊尚	南信美術会（飯田市美術博物館）	本部会・文化部会	3		
牧島 晃	学校法人コア学園飯田コアカレッジ	本部会・文化部会	1		
三浦 宏子	おもしろ科学工房	本部会・文化部会	2		
山崎 啓	飯田市校長会（竜丘小学校）	本部会・文化部会	3	◎	
山崎 久孝	飯田市PTA連合会（遠山中学校）	文化部会	1		
内田 総一郎	南信教育事務所飯田事務所指導主事	アドバイザー	2		
伊藤 弘	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課長		—		
本島 秀勇	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課長補佐		1		
樋口 晋哉	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課主査		3		
賜 正俊	部活動地域移行支援コーディネーター		2		

担当 ◎＝司会、○＝発表、市職員＝記録

また、幼稚園や保育園だと、「手を繋いで、一等賞」っていうようなこと言ったりするところがあるが、中学・高校ぐらいになると競技性が強くなっていく。こうした相反する部分が存在することが、難しいところ。吹奏楽で言えば、地域の方との活動の中で、コンクールや大会での上位入賞をお願いするのとか、それとも「社会性」、「地域との連携（文化祭への出演など）」を重要視するのかで、まったく違う取り組みになってくので、その辺りをはっきりしておいた方がよい。

そもそも学校の中の部活動というものがどういう意味を持っているのか。1人で勉強している以上はトラブルは起きないはずだが、クラブは人とやっているからトラブルも起きる。しかし、トラブルが起きることが、社会性を学ぶ1つの勉強の場にもなってくる。トラブルを「起こさない」ではなく、起きたトラブルに「どう対処していくか」が、クラブ活動や地域連携を進めるなかで非常に大事な部分になるのではないかと。

(事務局)

おっしゃって頂いたように、形ではなくて、目指す姿（中学生にこうなってもらいたい）というものを、共有していくべきだと思いますので、その辺りをこれからお話していただければと思います。資料にある目的についても、今回のもので決定ではなく、皆さんのご意見をいただきながら、これからまたブラッシュアップして、最終的に年度末までには、目指す姿として文章化していきたいと思っておりますので、いろんなご意見いただければと思います。よろしくお願ひします。

(2) グループ協議

・事務局より部活動の実態、部活動アンケートの結果について説明

～事務局より説明～

→補足・意見等なし

(3) まとめ・共有

【4グループ】

- ・生徒のニーズ把握（極めたい生徒・体験的な機会を望む生徒）が必要である。
- ・目的や目指す方向性は良い。どう共有していくかが難しい。
- ・地域の方々子どもを褒めてくれ、やる気を引き出してくれる。社会の教育力のすごさを感じている。生徒が地域の中で自己肯定感を感じられる活動にしたい。
- ・保護者への理解促進は、できることからコンパクトにしたい。

【5グループ】

- ・部活動の地域連携としてだけでなく、学校教育全体のことと捉えて進めていくべき。これだけ取り上げても解決していかない。学校の役割や先生の役割を明確にしていく必要がある。
- ・部活動の地域連携を進めることで、学校の教育活動が充実していくということが伝わりづらい。
- ・部活動を楽しみにしている生徒もたくさんいる。部活動を無くしたことで不登校に繋がるケースも考えられるため、部活動を簡単になくすべきではない。
- ・部活動にない活動であっても、地域活動の中でできるような環境を生み出したい。多様性が求められる時代、選択肢を拡げることが大切である。
- ・生徒が自分自身を生かせる場所があると良い。
- ・子どもへの機会提供が飽和状態ではないか。「お客様」ではなく主体的な関わりののできる場があると良い。

【6グループ】

- ・これまでの学校のクラブ活動の中で、対人関係や社会性を学んできた子どもも多い。トラブル等乗り越えて一つにまとまる経験もクラブ活動の大事な学びになっていた。こうした学びも、大事なことから定義しておかないと、地域の方との活動の中でトラブルが生じた場合に「地域に移行したからトラブルが起きた」と、なってしまう。
- ・中学生期に様々な経験を積んでおくことで、大人になって仕事や子育てが一段落した時に思い出し「またやりたい」となってくれ、生涯学習につながる。
- ・「高いレベルでやりたい」というニーズもあるかもしれないが、そういう生徒はそういうグループに入って活動すれば良いのではないかと。
- ・冬季ジュブ・チャレンジ期間にも大会やコンクール等があり、オフ期間でない部活動もある。部活動の目的が大会への参加ありきになっていないか。部活動の目的が何かを考えながら、大会への参加の判断できると良い。
- ・地域との連携を進めるためには、飯田市の特徴である公民館のしくみを活かすことが良いのではないかと。例えば、指導者の発掘を各地区で行い、地区間の連携（館長会や主事会）で共有していくことで、子どもたちのチャンスが広がる。

(4) アドバイザー 南信教育事務所飯田事務所 内田指導主事より

県も国の動向に沿いながら、またアンケートをとりながら指針を作っていく段階にある。飯田市は、このように協議会を立ち上げて文化もスポーツも進めているので、県と同じ歩調で進んでいる。「どういう子どもたちになってほしいか」をイメージして進めていくのかということを考えて、組み合わせではない。一番思うのは、子どもたちが自分で自分の道を歩んでいくようにならなければならないと思う。グループ協議でもこうした話ができてよかったです。

部活動の地域移行について

令和5年度から休日の部活動を、段階的に地域に移行します！

なぜ移行するのか？

- 生徒・保護者の多様なニーズ
・「もっとやりたい」「強くなりたい」「やっていたのに部がない」「楽しみたい」といった多様なニーズ
⇒多様なニーズにこたえる環境が必要
○少子化に伴い部が成立しない
⇒学校の枠だけではスポーツ文化環境が保てていきません
- 教員の大きな負担
・平日(隔週外勤務)、休日の負担
・生徒、保護者のニーズにこたえる負担
・未経験の種目を指導する顧問の負担
⇒働き方改革を進める環境が必要

千曲市・坂城町では、部活動に代わる新たなスポーツ・文化芸術環境の構築(地域移行)を目指し、「千曲坂城クラブ」を設立します！

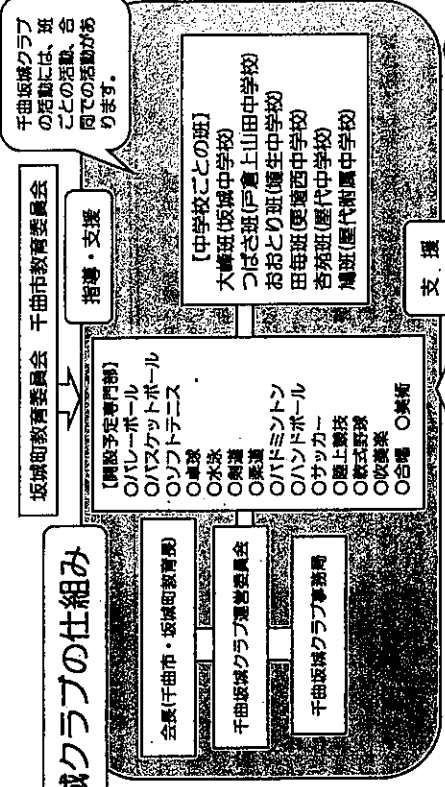
「段階的に」とは？

今まで学校が担ってきた部活動を、地域移行するには多くの課題があります。したがって、令和5年度は、地域移行が可能な部から、少なくとも月1回程度の地域移行から始めます。令和7年度には、すべての部で、休日の部活動を地域移行するのが目標です。

多くの課題や矛盾がある中で、学校は、対応できな時代！

地域での新たなスポーツ・文化環境の構築
～令和2年9月に文部科学省等が示した方針～

千曲坂城クラブの仕組み



指導者は地域から

- ・指導者を広く地域から募集します。指導者は「スポーツ・文化活動を通して、中学生の健全育成に寄与する必要がある方」にお願いいたします。
- ・指導者には、予算の範囲で報酬を出します。また予算の中から、スポーツ安全保険に加入していただきます。
- ※クラブの成否を決める最大の課題は「指導者の確保」です。

クラブに参加するには

- ・クラブへの参加は、千曲坂城クラブの趣旨に賛同する生徒、保護者が参加することになります。あくまで任意の参加です。
- ・部活動に参加していただくだけでも、クラブに入ることが出来ます。
- ・小学生、高校生は参加も検討しています。
- ・クラブ入会には、「入会届(様式第1号)」の提出が必要です。
- ・指導者が入れれば新しい活動をはじめるとも可能です。

部活動とクラブの関係

- ・平日は部活動として部活動顧問が指導、休日はクラブとして地域の指導者が指導することが基本です。部活動顧問とクラブ指導者は、コミュニケーションを密にして、大きな指導の方向を共有し、それぞれの指導者の持ち味を生かして練習を進めます。
- ・将来的には、平日の部活動もクラブとしていくことが理想です。

費用について

- ・全員が「スポーツ安全保険」に加入します。
- ※自己負担となります。
- ・指導者への謝金をはじめ活動に必要な経費、クラブ運営に必要な経費等の全費徴収が必要になります。国、県の助成を注視しながら市街からの補助も検討していきますが、算定負担が原則となります。
- ・中学校の施設、用具等は、可能な限り優先して利用できるようにします。また町、市の施設の利用も可能です。使用料は減免の方向で検討しています。

～「千曲坂城クラブ」の目指す姿～

- ⇒子どもたち、保護者・地域の多様なニーズに応じたクラブを目指します。
- ・「もっと強くなりたい」「専門的指導を受けたい」「OOをやりたい」「楽しみたい」といった子どもたちのニーズにこたえるクラブにします。
- ・「こんな経験をさせたい」「様々な活動で成長させたい」といった保護者のニーズにこたえるクラブにします。
- ・子どもたちに伝えたい「子どもたちに伝えたい」「この活動を普及させたい」といった地域のニーズにこたえるクラブにします。
- ・「アーバンスポーツ」「ゆるスポ」「部のなかつた文化活動(例:将棋・百人一首等)」も指導者が入れれば、立ち上げが可能です。
- ⇒クラブ指導者として活動したい学校職員は「兼職兼業の許可」を得て参加することができるようになります。
- ⇒「長野県中学生期のスポーツ活動方針」「長野県中学校の文化部活動方針」「更埴地区中学校部活動大綱」を踏まえて、健康に配慮して活動を進めます。
- ⇒千曲市・坂城町に住む多くの方に参画いただき、千曲市・坂城町の新たなスポーツ・文化環境を構築するクラブを目指します。
- ・千曲市と坂城町の新たなコミュニティの場としていきます。
- ・市民、町民の方から応援されるクラブを目指します。

クラブ運営には多くの課題が予想されます。千曲市・坂城町の子どもたちに、スポーツ・文化活動を保障していくために、教師の働き方改革を進めるために、みんなで知恵を出し合い、協力していきましょう。

お問い合わせ 各中学校事務局 又は
坂城町教育委員会教育文化課(0268-75-6209)
千曲市教育委員会教育文化課(026-273-6120)まで



令和5年度 千曲坂城クラブ

吹奏楽専門部



目的 5つの班合同の吹奏楽団で合奏を楽しみましょう

地域指導者から教えてもらい技術を高めましょう

練習日 毎月1回 土・日のどちらからで行います

場所 戸倉上山田中学校、あんずホール など

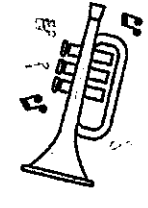
内容 5つの班合同で、合奏やパート練習を行います

指導者 教職員及び千曲市吹奏楽団を中心とする地域指導者

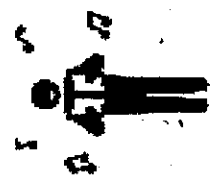
費用 クラブ年会費3,000円のほかに必要経費1,000円程度

発表会 令和6年3月10日(日) 午前：上山田文化会館(予定)

事務局 戸倉上山田中学校(塚田：026-275-0069)



合唱専門部



美しいものを美しいと思ひ、醜いものを醜いと思う心
生きる喜びや悲しみを知る心
人間は何のために生きるのかを自問する心

音楽はこんな心を養うためにあるのだと思います。そして「歌うこと」は私たちの感情や思いがもっとも表しやすい音楽の一つです。お友達と一緒に、自分の心を開放してみませんか？

練習日 毎月1回(土曜日に行います。4月・9月・3月は行いません。)

場所 戸倉上山田中学校 音楽室

内容 毎回変わる合唱曲で、音楽を歌い味わいます。

指導者 地域の音楽の先生が指導します。

費用 クラブ年会費3,000円のほかに、楽譜等購入したいときは若干の費用がかかります。

事務局 西澤 真一(連絡先 埴生小学校 電話272-0158)

美術専門部

造形活動を楽しみながら、発想力や創造力を伸ばしましょう。11月にアートまちかど2Fギャラリーで展覧会を開催予定です。



様々なアートに挑戦!

活動日 月に1~2回(活動しない月もあり。)

※展覧会等に合わせて日程調整します。

場所 屋代南高等学校 美術室 他

内容 指導者と参加者が相談しながら活動を計画していきます。

指導者 経験豊かな指導者が指導します。

費用 クラブ年会費3,000円のほかに、制作内容により、用具、材料費等の費用がかかります。



書道などもやるよ!

事務局

中平 紀子 千曲市立屋代中学校

TEL:026-272-0276

[たたき台]地域クラブ活動の目指す姿と進め方について

スポーツ課・学びの改革支援課

○目指す姿

原則として・・・

『休日・平日ともに、全ての学校部活動(スポーツ・文化芸術活動)を、地域クラブ活動に移行する。』

<移行を進めるための具体的な目標>

- ①まずは、休日の学校部活動を令和8年度末を目途に地域クラブ活動に移行する。
- ②平日はできるところから移行する。これが難しい場合でも生徒の活動を保障しつつ、教員の勤務時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施する。
ただし、平日のみ短時間で行っている活動については、学校の判断により勤務時間内に行うことが考えられる。

○地域クラブ活動への移行に向けた今後の進め方

区分	具体的な目標	県の取組	市町村の取組
休日部活動	○地域クラブ活動に移行 【R8年度末目途】	○「 <u>長野県中学生期のスポーツ活動指針</u> 」及び「 <u>長野県中学校の文化部活動方針</u> 」(以下「県の指針・方針」という。)の改定により移行の方針を示す 【R5年度】 ■国の補助事業等の活用による市町村支援 【継続】 ・拠点活動を支援する県総括コーディネーターの配置 ・部活動指導員任用事業の拡充や指導者の派遣	○左記を参考に地域の実情を踏まえた <u>推進計画</u> を作成 【県の指針・方針改定後、順次】 ■ 地域クラブ活動の環境整備 ・活動拠点の運営に係る合意形成 ・準備会や協議会等の開催 ・指導者の確保、育成
平日部活動	○できるところから地域クラブ活動に移行【順次】 □ <u>教員の勤務時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施</u> 【順次】	○R7年度までの移行状況を調査・検証し、 <u>平日に係る県の指針・方針を改定</u> 【R8年度】 □ <u>負担軽減のための支援</u> ・平日における適正な活動日数等の調査 【～R7年度】 ・顧問に代わる指導者の確保支援(部活動指導員、地域指導者) 【順次】	○左記を参考に地域の実情を踏まえて <u>推進計画</u> を見直し 【県の指針・方針改定後、順次】 □ <u>負担軽減に向けた検討・実施</u> ・登校日数や日課等の見直し 【左記調査後、順次】 ・顧問に代わる指導者の確保 【順次】

※ 地域クラブ活動への速やかな移行が難しい地域(広域エリア)

- ・まず、県は、関係市町村が地域クラブ活動への移行について協議や検討を行うための広域エリアの活動拠点の設定を支援。
- ・コーディネーターの配置や指導者の派遣など、県は市町村との協調により活動拠点の体制整備を推進。

地域クラブ活動への移行に向けた推進スケジュール

資料4

R4

R5

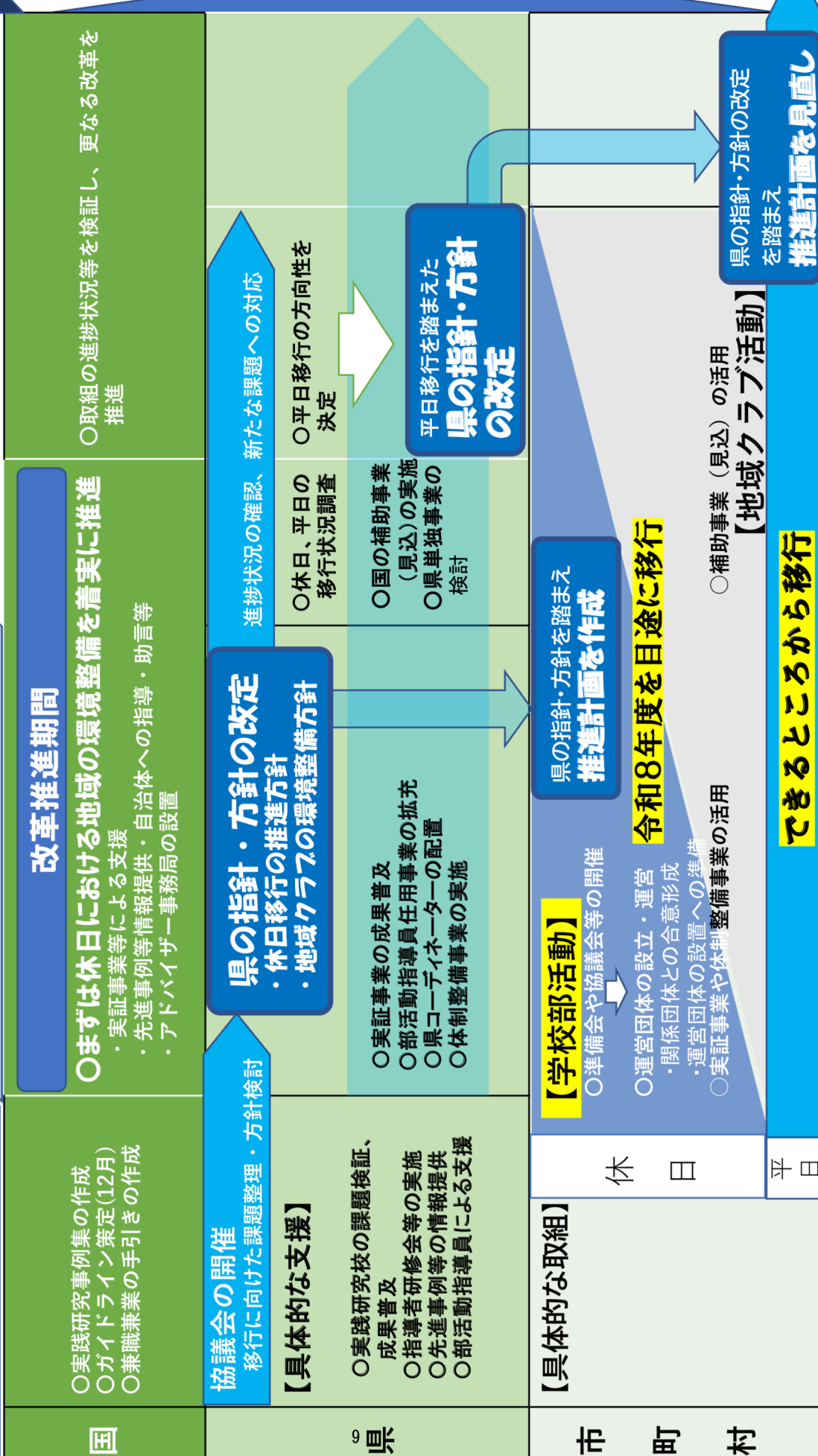
R6~7

R8

R9以降

目指す姿

原則として休日・平日ともに
全ての学校部活動(スポーツ・文化芸術活動)を、
地域クラブ活動へ移行する



できるところから移行

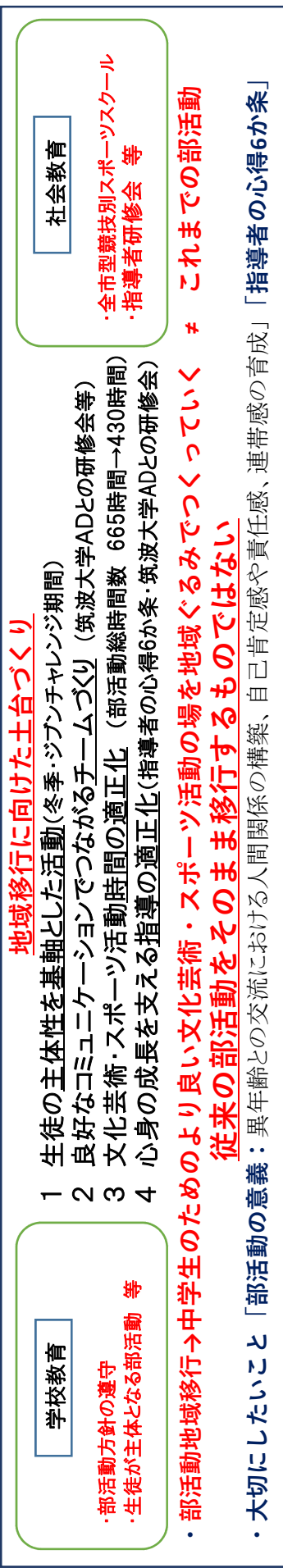
★取組の目的

中学生が、ウェルビーイングを感じながら、地域の中で、主体的に様々な文化芸術・スポーツ活動に取り組むことを通じて、心身の健やかな成長と豊かな社会性を育む

- 1 生徒がやりたい文化芸術・スポーツをできる地域環境をつくる
- 2 生徒が文化芸術・スポーツの楽しさを実感できる場をつくる
- 3 生徒が生涯にわたり文化芸術・スポーツに親しむ意識と習慣を育む
- 4 高い技能レベルをもつ生徒を地域で育む

★R1からこれまでの取組

<取組の前提> 学校教育と社会教育との連携による取組



「子どものため」をアップデートさせよう

- ・一つのことにもふらず ⇒ 多様な経験、多様な人との出会い
- ・長時間練習による能力の向上 ⇒ 科学に基づいた効率的な練習による能力の向上

★R5～ <部活動地域移行>

今後の中学生の活動イメージ



<中学生の志向>

- ✓文化芸術・スポーツを楽しみたい
- ✓多様な種目を楽しみたい
- ✓特定種目の技能、競技力を高めたい

主体的な参加

★中学生の主体的な活動の場＝地域の単位

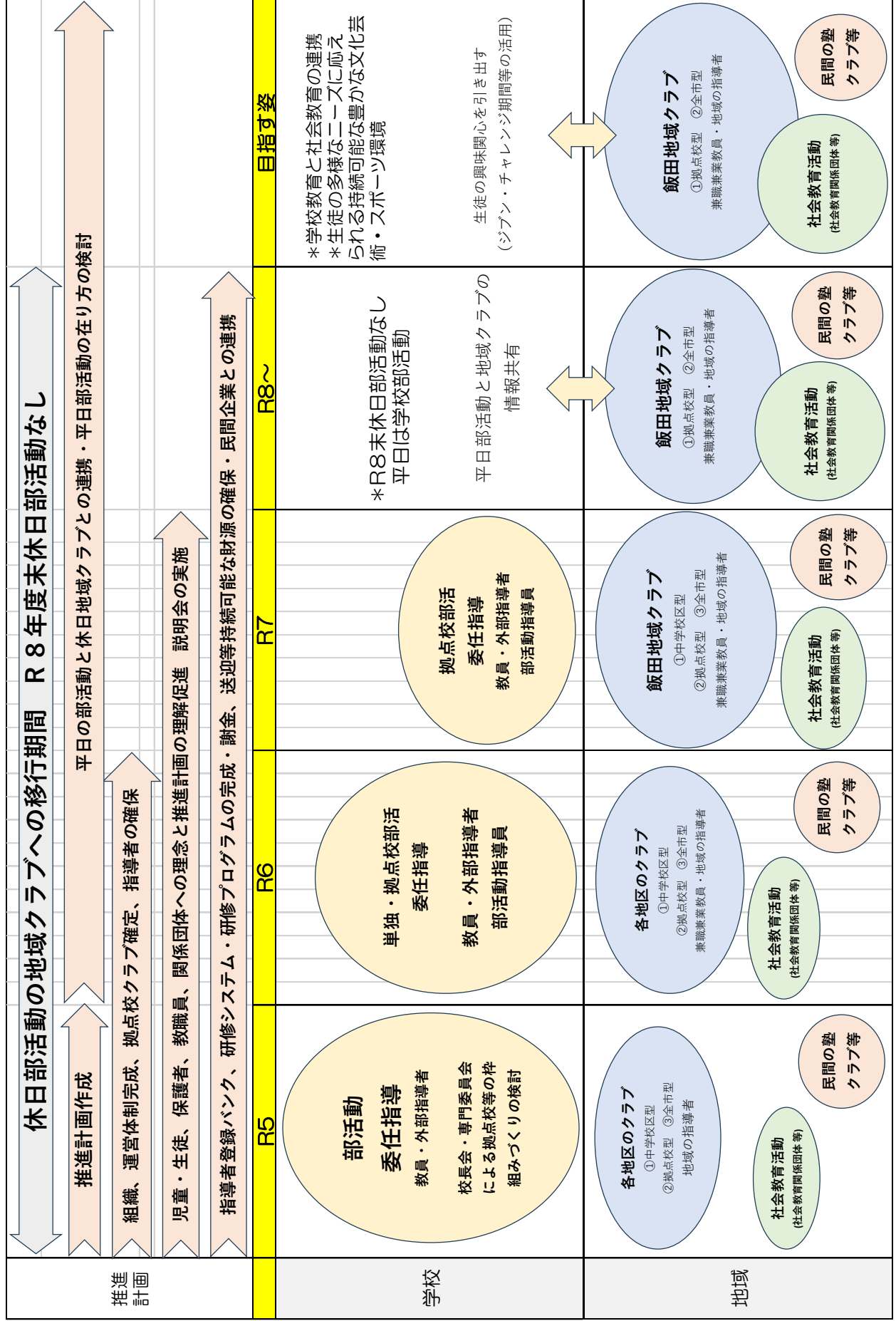
- 1 中学校区…歩いて行ける身近な活動の場
【総合型地域スポーツクラブ・地区サークル】
- 2 全市…多様なレベルやニーズに応じた活動の場
【全市民競技別スポーツスクール(R1～先行実施)、スポーツ協会、民間クラブ】
- 3 飯田下伊那…希少種目や限定的な指導者による活動の場(相撲、ラグビー等)



★中学生が文化芸術・スポーツを楽しめる環境づくりのための連携協議会の設立 (文化部会とスポーツ部会)

文化芸術・スポーツ分野の関係者が集い、中学生期の現状や課題について意見交換し、今後の方向性を協議する

休日部活動の地域連携・地域クラブへの段階的な移行イメージ



美術部活動の地域連携による新たな価値の創造

南信美術会・美博 手塚俊尚

1 美術系部活動地域連携の現状と課題

美術系部活の地域連携に関しては、飯伊の美術文化芸術団体等で現在中学生をまきこんだ活動を行っている実績はなく、試みたこともない。関係する大人は部活動も含め美術は学校でやるものと考えていて、生徒達も課外(土日)学校外で美術活動を行いたいという希望もあまりみられない。各校の美術部人数からも、潜在的に何か美術活動をやってみたいという生徒は多いのに、美術の部活を地域で行いたいという希望がないのは、学校外で美術部活動を行うイメージがつかめず、活動の楽しさを理解できないからと思われる。

幼児を対象としたイベント的な造形的なワークショップはよく開かれ人気もあるようだが、中学生対象の場合は、それなりの活動場所と専門的な指導者が必要となるため、活動を受け入れる環境を整えるためのハードルは高い。

南信美術会では、次世代育成事業として南信美術展にジュニア部門(高校生)を設けて各校の美術部に出品を呼びかけ、作品研究会を実施するなどして美術を通しての異世代交流を図っていて、高校生が加わることによって美術展に活気が創出されている。部活動の地域連携を図るには、運営組織を編成し、この組織が主体となって指導者、活動場所の確保、生徒・保護者への参加呼びかけなどの推進をする必要がある。今の実情を考えると、一気に地域移行を進めるのは難しく、生徒にとって何かきっかけがつかめればいい、少しでも美術活動に興味を持ってくれればいい位の気持ちで始めてみるべきだろう。参加の際のハードルを低くして、レク的な参加を大いに歓迎するようにしていく方向を大事にしたい。

ゼロからのスタートでなく、現在の地域移行の実情を見極め可能性を探り、これを発展させていく地域移行の方向性がよいと思われる。

2 体験機会の創出に向けて具体的な方策

(1) 美博での美術部の活動の受入れ

過去に保護者送迎、顧問帯同という形で美術部生徒が美博で主に菱田春草を中心とした鑑賞学習したことがあった。しかし、美術部顧問が代わると途絶えてしまう事が多く継続しないという問題点がある。美博での活動内容は、顧問と美博職員で協議して決め、解散まで顧問が付き添っている。美博での活動例としては、次の3つである。

○菱田春草常設展を中心とした展示鑑賞 展示に関わる展示解説

○ギャラリートークや、作家の話を聞く。

○実技ワークショップ 展示内容に関連させて

学校の部活動単位で受入可能である。どこまで顧問が関わるかという問題があり、完全に活動を地域に移行しているわけではないが、学校側との協議を進めていけば、移行の有効な方策となっていくだろう。

(2) 飯田市美術館主催「中学生造形教室」

従来からあった小学生の「子ども美術学校」に加えて令和4年に開始、15名定員として、美博ホームページ、広報いいた、各中学校学級数案内通知しているものの、4年度14名が参加 5年度は8名参加と希望する中学生は多くなかった。土曜日の午後2時間半、科学工作室で活動している。今年度は、5、7、8、10月の4回(自画像を日本画で描く、スチレンボード版画で抽象表現、陶芸黒泥の花びん、スペシャルセレクト春草展、長野県展の鑑賞)を計画している。継続可能ではあるが、現状では、最多で定員15名、実施回数は、年間6、7回が限度である。

(3) 飯田創造館機能の旧地場産移転の課題と関連させて

現在、飯田創造館の機能を旧地場産に移設するための協議が進行中である。文化庁の「文化庁活動の地域移行に関する検討会議の提言」①新たな文化芸術に親しむ環境のあり方充実方策 ②文化芸術団体の整備支援 指導者発掘、登録 ③文化施設の確保方策等生涯を通じて文化芸術を愛好する環境促進に向けての提言を受ける形で、現在飯田創造館で活動している各グループと連携して、新たにスタートする場所を活用していけないだろうか。単発的に終わることなく、持続可能な運営をしていくには、新たな創造館活動のスタート段階から計画に組み入れていって、継続的運営を可能にしていく仕組みが必要となる。

学校部活動・地域活動への参加状況（令和4年度部活動アンケート結果より）

学校部活動				地域クラブ参加者				
運動部	1年生	2年生	計	同種目	他種目	文化	不明・未回答	
サッカー	7	38	45	8	0	0	2	
ソフトテニス	74	54	128	41	3	2	1	
ソフトボール	13	6	19	9	0	0	0	
バスケットボール	49	63	112	57	0	0	8	
バレーボール	42	51	93	36	3	0	5	
剣道	13	10	23	15	1	1	0	
柔道	5	4	9	5	0	0	0	
水泳	15	11	26	6	0	1	1	
卓球	51	75	126	42	3	2	2	
野球	34	30	64	29	0	0	0	
陸上	23	22	45	9	1	0	3	
新体操	1	0	1	0	0	0	0	
不明	1	1	2	1	0	0	1	
運動複数	0	1	1	0	0	0	0	
運動+文化	0	1	1	0	1	0	0	
運動部計	328	367	695	258	12	6	23	299人
			52.5%	37.1%	1.7%	0.9%	3.3%	43.10%

学校部活動		地域クラブ参加者							
部活のある 学校数	文化部	1年生	2年生	計	同種目	他種目	運動	不明・未回答	
4/9	コンピューター・パソコン	40	26	66	0	1	2	0	
1/9	家政・家庭科	12	9	21	0	0	2	0	
1/9	技術	6	20	26	0	0	1	0	
2/9	合唱	5	9	14	0	0	1	0	
7/9	黒田人形	1	3	4	0	0	2	0	
	人形劇	5	9	14	0	0	0	0	
9/9	吹奏楽	74	57	131	2	3	3	0	
7/9	美術・芸術	72	67	139	0	1	6	0	
—	不明	0	1	1	0	0	0	0	
—	文化複数	1	1	2	0	0	0	0	
—	文化+運動	0	0	0	0	0	0	0	
	文化部計	216	202	418	2	5	17	0	24人
	文化複数：美術+合唱			31.6%	0.5%	1.2%	4.1%	0.0%	5.7%

学校部活動		地域クラブ参加者						
部活動未加入者	1年生	2年生	計	運動	文化	運動+文化	不明・未回答	
	105	105	210	84	4	3	6	97
			15.9%	40.0%	1.9%	1.4%	2.9%	46.2%